

(2) 主要な施策の成果について(総務部)

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
人事課	一般管理経費(人事評価システム導入事務)							本市の人材育成の基本となる取組みは3年計画で実施することとしている。平成17年度はその初年度にあたり、田川市第4次総合計画における「人が豊かに輝くまち田川」創出を念頭においた職員の人材育成を図るため、市役所の組織(職場)風土調査を行い、本市の求める(目指すべき)職員像を明確にした田川市人材育成基本計画を作成した。
	本年度	2,778					2,778	
	前年度	0					0	1 「目指すべき職員像」の5つの基本意識・姿勢 (1)市民感覚に輝く職員 (2)経営感覚に輝く職員 (3)チャレンジ精神に輝く職員 (4)プロ精神に輝く職員 (5)人間性に輝く職員
	増減額	2,778	0	0	0	0	2,778	
								2 人材育成施策の6つのアプローチ (1)人事評価システム (2)職場開発 (3)採用制度 (4)給与・職制 (5)キャリア開発 (6)能力開発 ※上記の施策については、平成18年度から順次検討・実施していく予定である。
人事課	職員厚生対策経費							職員の福利厚生対策に関する事業運営を職員厚生会に委託している。
	本年度	12,127					12,127	
	前年度	17,673					17,673	職員の保健、元気回復その他厚生に関する事業を計画実施するために、地方公務員法及び条例の規定に基づき、「職員厚生会」が設置されている。本年度は、本市の財政状況を勘案した適正な事業運営を実施するため、事業内容全般の見直しを図り、市交付金率を9/1000⇒6/1000へ縮減した。
	増減額	△ 5,546	0	0	0	0	△ 5,546	
								職員厚生会に下記の事業運営を委託実施した。 ①体育部・文化部へのクラブ活動助成 ②カフェテリアプランとしてレクリエーション等への助成 ③食堂及び売店の運営等

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容	
			国	県	起債	その他	一般財源		
								研修を通じて、職員一人ひとりが有する可能性を最大限に引き出すことを最大のテーマに掲げ、地方自治の効率的な運営を行うため、資質の向上・意識改革を図っている。	
人事課	職員研修経費								
		本年度	6,005				(諸) 660	5,345	積極的に研修を行う必要はあるが、本市の厳しい財政状況を勘案して、研修内容を厳選し、最小経費で最大の研修効果をあげることを目標に、下記のとおり研修を実施した。特に本年度は、初めての試みとして民間企業への派遣研修の実施や全職員を対象に人権・同和研修の充実を図った。
		前年度	6,597				(諸) 660	5,937	
		増減額	△ 592	0	0	0	0	△ 592	
									1. 派遣研修(福岡県地方課1名、自治大学校1名、市町村アカデミー8名、トヨタ自動車九州1名) 2. 市町村職員研修所研修(延109名) 3. 各課専門研修(延97人) 4. 特別の資格取得等研修(社会福祉主事等6名) 5. 市研修所主催研修(管理職研修等) 6. 人権・同和研修(田川地区自治体職員研修等) 7. 職場研修(人権研修等) 8. 自主研究グループ活動(3グループ)及び通信教育講座(2名)への助成
									田川市は、昭和37年12月に福岡県市町村職員共済組合に加入したが、それ以前に退職した「田川市職員退職一時金、退職年金、遺族扶助金並びに死亡給与金条例」の適用者に係る退職年金及び遺族扶助金を支給している。
人事課	恩給及び退職年金費								
		本年度	5,589					5,589	1. 支給人数 5名(遺族扶助金のみ)
		前年度	5,589					5,589	
		増減額	0	0	0	0	0	0	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起債	その他	一般財源	
								企画課企画グループの分掌事務(主に秘書事務)を遂行するための一般管理業務
企画課	一般管理費							
		本年度	8,981					8,981
		前年度	8,588					8,588
		増減額	393	0	0	0	0	393
								主として、市長・助役の秘書事務全般 以下の事務を行い、市政の円滑な運営と進展に質し、地方自治の興隆繁栄に努めた。 1 市長交際に関すること 2 県内各市間の連絡協調 3 九州地区各都市間の連絡協調 4 全国各市間の連絡協調
企画課	市勢要覧販売							平成15年度に作成した「市制60周年市勢要覧」を販売する市役所職員厚生会売店への販売委託料。
		本年度	1					1
		前年度	4					4
		増減額	△ 3	0	0	0	0	△ 3
								・販売金額 1冊 800円 ・手数料 1冊 100円

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容	
			国	県	起 債	その他	一般財源		
企画課	広報活動経費							「広報たがわ」発行 (平成17年4月15日号～平成18年4月1日号、月2回) 総数 280ページ 「広報たがわ」を市のホームページに掲載 広報誌に掲載する写真はモノクロ写真であるが、ホームページ上では カラー写真に差し替えている。	
		本年度	10,195					10,195	
		前年度	11,246					11,246	●特集 4月15日号「田川市機構改革」 5月 1日号「川渡り神幸祭」 5月15日号「定期監査報告」 6月 1日号「DV・児童虐待特集／防災ガイド(保存版)」 6月15日号「環境ミニ特集」 7月 1日号「同和問題啓発特集」 7月15日号「青少年特集」 8月 1日号「保健・健康特集／国勢調査」 8月15日号「戦後60年平和特集」 9月 1日号「救急活動レポート」 9月15日号「敬老の日特集」 10月 1日号「台風14号被害報告・防災案内／公民館まつり特集」 10月15日号「読書の秋特集」 11月 1日号「病院・水道事業決算報告／ねんりんびつくふくおか2005綴じ込み」 11月15日号「アスベスト問題特集」 12月 1日号「人権週間特集／財政決算報告」 12月15日号「ねんりんびつくふくおか2005マラソン交流大会報告レポート」 1月 1日号「地域行事特集」 1月15日号「子どもを守る防犯特集」 2月 1日号「障害者福祉特集」 2月15日号「障害者自立支援法特集」 3月 1日号「健康展特集」 3月15日号「青少年特集」 4月 1日号「花と緑のまち新田川創生プランシンポジウム特集」
		増減額	△ 1,051	0	0	0	0	△ 1,051	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
企画課	国際交流事業							国際交流員と市民が直接触れ合えるようなイベントを企画し、それらを通じてお互いの文化を理解する心を育むとともに、国際的な視野を持った人材育成を目的とした事業を行っている。
		本年度	5,613				(諸) 271	5,342
		前年度	5,848				(諸) 266	5,582
		増減額	△ 235	0	0	0	5	△ 240
								<p>・アジアクッキング 平成17年5月29日(日)・市民会館(参加者 19人) アジアの食文化を紹介するイベントとして、国際交流員の母国や出身国の料理と一緒に作ることで文化交流を図った。</p> <p>・ワールドダンスレッスン 平成17年9月11日(日)・市民会館(参加者 19人) 北九州市と岡垣町の国際交流員を講師として迎え、ハワイダンスとラテンダンスを通して、市民との国際交流を深めた。</p> <p>・国際交流写真展 平成17年10月中旬から11月下旬まで 田川・京築地区の国際交流員及び外国語指導助手からみた日本を、写真やメッセージで紹介。展示場所は市役所1階ロビー他、展示を希望する市内小中学校・高等学校、図書館、市民会館など</p> <p>・インターナショナルクリスマスパーティー 平成17年12月17日(土)・市民会館(参加者 49人) 生演奏を楽しみながらのクリスマスランチとワークショップを通して、外国のクリスマスの過ごし方を紹介し、市民の国際交流と国際理解を深めた。</p> <p>・私の国のおすすめ料理 平成18年2月25日(土)・市民会館(参加者 24人) 国際交流員が母国や出身国のおすすめ料理を紹介し、参加者と一緒に作ることで食文化交流を図った。</p>

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容	
			国	県	起債	その他	一般財源		
企画課	各種委員会審議会関連経費							公の施設の設置目的を損なうことなく、適切な管理を確保した上で、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることを目的とした田川市指定管理者制度における経費。	
		本年度	39						39
		前年度	90						90
		増減額	△ 51	0	0	0	0		△ 51
								田川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例(平成17年条例第15号)に基づく公の施設の管理を行う指定管理者の候補者の選定等を公平かつ適正に実施するため、開催した田川市指定管理者選定委員会委員への謝礼金。(3回開催)	
企画課	田川市将来構想策定事業							市民の参画活動で人づくり・生涯学習・世代間交流・産官学連携を実践するため、「花と緑のまち新田川創生プラン」を策定し、シンポジウムを開催した。	
		本年度	1,261		659				602
		前年度	0		0				0
		増減額	1,261	0	659	0	0		602
								<ul style="list-style-type: none"> ・「花と緑のまち新田川創生プラン」策定委員会の設置 ・「花と緑のまち新田川創生プラン」策定委員会における審議(6回) ・先進地視察(北海道赤平市における第2回全国炭坑節大会への参加) ・「花と緑のまち新田川創生プラン」の策定・冊子作成 ・「花と緑のまち新田川創生プラン」推進委員会(進捗管理等)の設置 ・「花と緑のまち新田川創生プラン」推進委員会(進捗管理等)における審議(1回) ・「花と緑のまち新田川創生プラン」シンポジウムの開催 	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
企画課	福岡県立大学支援事業費							福岡県立大学と地域を結びつけ、県立大学の認知度を高め、さらなる発展を図るため、県立大学が市民を対象に行う事業や、市民との交流事業に対し助成を行う。
	本年度	300					300	助成対象事業 ・福岡県立大学大学祭 ・福岡県立大学市民公開講座
	前年度	300					300	
	増減額	0	0	0	0	0	0	
企画課	ふるさと人づくり事業費							郷土愛に満ちたふるさとを創生するための諸施策を総合的かつ効果的に推進するため、「ふるさと人づくり基金」を財源に、『人づくり』を視点とした事業を実施した。
	本年度	1,738				(基) 1,738	0	福岡県立大学生及び大学院生を学生ボランティアとして登録したうえで、市内の小学校(金川小学校・弓削田小学校)にTA(ティーチングアシスタント)として派遣し、教師の補助、児童アドバイザーとして活用することにより、児童の基礎学力向上の支援を行った。 ・やまびこの社(自然体験アクティブスクール)事業 子どもたちに自然と触れ合う場を提供し、英彦山青年の家での共同生活を通して、各自が役割を持って共同作業を行うことにより、規則正しい生活習慣やマナー・思いやりの心・生きる力を育てること等を目的として実施。
	前年度	1,910				(基) 1,910	0	
	増減額	△ 172	0	0	0	△ 172	0	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
企画課	統計調査経費							田川市、直方市、宮若市が1年ごとに事務局を務めている福岡県統計協会田川・直鞍支部の総会や研修会を開催し、支部事業の運営等を行うとともに、統計事務の向上及び統計事業の啓発に努める。その他下記事業に要する経費。
	本年度	32					32	1 福岡県統計協会 統計知識・技術の向上を図り、統計事業の振興・発展への寄与を目的とし、県・市町村で組織する。その下部組織として、県内に8支部があり、当市はそのうち、田川・直鞍支部に属する。 2 福岡県都市統計協議会 県内各市で構成する。都市統計事務に関する調査研究及び建議並びに統計研究会の開催等を行う。 3 「ことしの事業と統計」作成に係る経費。年1回、当市が発行している統計冊子「ことしの事業と統計」の作成に係る経費。
	前年度	35					35	
	増減額	△ 3	0	0	0	0	△ 3	
企画課	各種統計調査経費							毎年、定められた各種統計調査を実施している。また、これらの各種統計調査のための調査員の確保、資質の向上を図ることを目的として、調査員研修会等の統計調査員確保対策事業を実施している。
	本年度	25,065		25,065			0	《平成17年度に実施した統計調査》
	前年度	4,649		4,649			0	1 平成17年国勢調査(H17年10月1日現在で実施) (概要) 5年に1回、市内に常住するすべての人対象に実施。当市では、指導員41人、調査員317人を配置。平成17年国勢調査速報値(田川市) 人口51,536人、世帯数20,633世帯
	増減額	20,416	0	20,416	0	0	0	2 工業統計調査(H17年12月31日現在で実施) (概要) 毎年、年末現在で市内にある製造業に属する事業所を対象に実施。当市では、調査員7人を配置。

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
								非核平和宣言都市として、平和事業を実施し、市民の平和に対する意識の向上を図る。
企画課	平和事業関連経費							
	本年度	362					362	
	前年度	330					330	戦争の悲惨さと平和の尊さについて、市民が集い、ともに考える機会として、「平和を考える市民の集い」を開催した。 (参加者 約100人)
	増減額	32	0	0	0	0	32	・ミニコンサート&平和メッセージ ・映画「GAMA月桃の花」の上映 ・ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展示 (広島平和記念資料館 蔵)
								市有地・市庁舎の維持管理に係る経費
財政課	財産管理経費							
	本年度	52,341				(諸) 222	52,119	・庁舎清掃等委託料 17,123,471円
	前年度	54,755				(諸) 1,438	53,317	・修繕料 11,821,885円
	増減額	△ 2,414	0	0	0	△ 1,216	△ 1,198	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
財政課	廃棄物処理施設基金積立金							ごみ処理手数料の収入の一部を将来のごみ処理施設建設費の一部に充当するため、基金へ積立を行った。
	本年度	70,000				(使) 70,000	0	平成17年度末現在高 603,396,000円
	前年度	70,000				(使) 70,000	0	
	増減額	0	0	0	0	0	0	
財政課	他会計・事業会計繰出金等							国保・老保・救急特別会計、病院・水道事業会計への繰出金・補助負担金及び水道企業団への出資金である。各々の事業に対して、一般会計として負担すべき金額を執行している。
	本年度	1,707,397	27,128	190,934	21,700	0	1,467,635	・国民健康保険特別会計に対して 575,012,633円 ・老人保健特別会計に対して 525,978,000円 ・休日救急医療特別会計に対して 22,116,000円 ・病院事業会計に対して 558,907,000円 ・水道事業会計に対して 3,683,000円 ・田川地区水道企業団への出資金 21,700,000円
	前年度	1,709,377	146,112	73,056	8,100 (基)	123,533	1,358,576	
	増減額	△ 1,980	△ 118,984	117,878	13,600	△ 123,533	109,059	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容																	
			国	県	起債	その他	一般財源																		
								道路整備や学校建設、改良住宅建設等の建設事業や鉱害復旧事業、失業対策事業等の投資的経費の実施のための財源として借入を行った市債の元利償還金。																	
財政課	公債費																								
		本年度	3,720,316	0	3,618		(使) 701,685 (諸) 17,547	2,997,466	公債費の内訳																
		前年度	4,343,296	7,912	4,523		(使) 827,969 (諸) 17,562	3,485,330																	
		増減額	△ 622,980	△ 7,912	△ 905	0	△ 126,299	△ 487,864																	
									<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H17</th> <th>H16</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公債元金</td> <td>2,952,096,324</td> <td>3,501,823,867</td> <td>△ 549,727,543</td> </tr> <tr> <td>公債利子</td> <td>768,219,693</td> <td>841,472,568</td> <td>△ 73,252,875</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,720,316,017</td> <td>4,343,296,435</td> <td>△ 622,980,418</td> </tr> </tbody> </table>		H17	H16	差引	公債元金	2,952,096,324	3,501,823,867	△ 549,727,543	公債利子	768,219,693	841,472,568	△ 73,252,875	計	3,720,316,017	4,343,296,435	△ 622,980,418
	H17	H16	差引																						
公債元金	2,952,096,324	3,501,823,867	△ 549,727,543																						
公債利子	768,219,693	841,472,568	△ 73,252,875																						
計	3,720,316,017	4,343,296,435	△ 622,980,418																						
									市の広報紙等の配布を行い、市民への情報の伝達を図る。																
総務情報課	文書管理経費																								
		本年度	4,283					4,283	「広報たがわ」の配布 2名の嘱託職員が配布																
		前年度	3,967					3,967																	
		増減額	316	0	0	0	0	316																	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容	
			国	県	起債	その他	一般財源		
総務情報課	行政諸費							区長、組長等の報償及び市政に協力する各種団体の補助に関する事務を執行することにより、市民の福祉の向上、市政の発展を図る。	
		本年度	34,423						34,423
		前年度	35,462						35,462
		増減額	△ 1,039	0	0	0	0	△ 1,039	<ul style="list-style-type: none"> ・区長、組長等に関すること ・各種団体への補助 区長会1,125千円 検察審査協会30千円
総務情報課	市葬費							名誉市民(前田川市長)瀧井義高氏の逝去に伴い、田川市葬を執り行うもの。	
		本年度	4,111			(寄) 1,000			3,111
		前年度	0				0		0
		増減額	4,111	0	0	0	1,000	3,111	平成18年1月19日 田川市葬執行

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容	
			国	県	起 債	その他	一般財源		
								汎用コンピューターを用いたオンラインシステムの運用管理	
総務情報課	電子計算処理経費								
		本年度	66,327				(諸) 189	66,138	オンラインシステムの運用管理
		前年度	67,943				0	67,943	・市民課、税務課等の窓口で行う受付業務に関する運用
		増減額	△ 1,616	0	0	0	189	△ 1,805	・住民票、税証明書、保険証等の発行業務に関する運用 ・各種台帳、納付書、統計資料等の大量データ処理に関する運用 ・住民基本台帳ネットワークに接続する機器等の運用及び保守
									財務会計や文書管理に代表される庁内の各種システムの運用管理及び庁内の電子化を推進するための経費
総務情報課	IT推進事業費								
		本年度	140,216				(諸) 20,036	120,180	財務会計や文書管理に代表される庁内の各種システムの運用管理
		前年度	133,138				(諸) 19,996	113,142	・庁内設置パソコン機器等の維持経費 ・光ケーブルの維持管理経費
		増減額	7,078	0	0	0	40	7,038	・田川市郡8市町村で構成するLGWAN共同利用システムの運用 ・人事給与、勤休管理、職員申請システムの構築

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起債	その他	一般財源	
								たがわ情報センターの運用管理
総務情報課	情報拠点施設運営管理事業費							
	本年度	25,191				(使) 5,194 (諸) 985	19,012	<p>たがわ情報センターでは、行政及び地域の生活に密着した様々な情報発信やパソコン講習会を開催している。</p> <p>・情報プラザでは、パソコン操作やインターネットの利用を通じて、市民の情報リテラシーの向上を図っている。</p>
	前年度	27,416				(使) 4,168 (諸) 285	22,963	
	増減額	△ 2,225	0	0	0	1,726	△ 3,951	
								消防団員の訓練・出動に係る手当や、福祉共済・公務災害補償・退職報償金など、消防団の活動・処遇に係る経費を支出している。
総務情報課	消防団経費							
	本年度	27,969				(諸) 3,163	24,806	<p>1 消防団経費</p> <p>消防団員の訓練・出動に係る手当、退職報償金等 消防団員の処遇に関する事業を実施</p> <p>2 非常備消防関係各種助成事業</p> <p>消防団員の処遇改善の一環として福祉共済等各種掛金の支払や消防団運営補助金を助成</p>
	前年度	31,649				(諸) 3,216	28,433	
	増減額	△ 3,680	0	0	0	△ 53	△ 3,627	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
								消防施設の維持管理や修繕などの事業を行なっている。
総務情報課	消防施設管理経費							
	本年度	5,289				0	5,289	消防自動車や消防格納庫、消火栓・防火水槽等の各種消防施設の維持管理にかかる経費を支出
	前年度	6,728				(諸) 3	6,725	
	増減額	△ 1,439	0	0	0	△ 3	△ 1,436	
								消防施設の充足や地区警防体制の強化等の事業を行なっている。
総務情報課	消防施設設備整備事業費							
	本年度	16,572			15,500		1,072	消防自動車や消防格納庫、消火栓・防火水槽の設置等にかかる経費を支出 ・消火栓設置数 : 12基 ・消防格納庫建替え : 1棟(第11分団)
	前年度	3,618			3,400		218	
	増減額	12,954	0	0	12,100	0	854	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
								田川地区消防組合への負担金を支出している。
総務情報課	田川地区消防組合負担金							
		本年度	576,365					576,365
		前年度	575,349					575,349
		増減額	1,016	0	0	0	0	1,016
総務情報課	防災行政無線管理費							主に市民を各種災害から守るための防災行政無線(田川市防災行政無線、福岡県防災・行政情報通信ネットワークシステム)の維持管理費である。
		本年度	3,026				(諸) 827	2,199
		前年度	3,137				(諸) 842	2,295
		増減額	△ 111	0	0	0	△ 15	△ 96
								1 田川市防災行政無線 昭和59年に設置。市内48箇所に放送施設を設置し、火災等の災害に関する情報や田川市からのお知らせ等を放送している。
								2 福岡県防災・行政情報通信ネットワークシステム 国と県、市町村、防災関係機関を無線電話回線で結び、防災及び行政の情報を伝達する通信ネットワークシステム

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
								地方自治法、地方税法及び市の条例に基づき市税を賦課徴収する為の経費である。
税務課	賦課徴収事務費							
	本年度	42,309					42,309	市税は市の収入の根幹を成すべきものであり、市民税をはじめ目的税の課税を行うと共に収納確保のため滞納整理に取り組み、収納率の向上に努めた。
	前年度	40,368					40,368	
	増減額	1,941	0	0	0	0	1,941	